



学習：「教師と一緒におもちゃで遊ぼう」

今回は、Cさんの自立活動の学習の様子を紹介します。

Cさんはスイッチを押したり、たたいたりすることで光るおもちゃや歌絵本が大好きで、休み時間にそれらのおもちゃを使って、一人で遊んでいます。Cさんの遊びに教師が関わっていくことで、コミュニケーションの力が高まるのではないかと考えました。

Cさんの自立活動の目標は、「光ったり、音が鳴ったりするおもちゃを使って、教師と関わるができる」です。



①

おもちゃで
一緒に遊ぼう！



②

光ったり、音が鳴っ
たりするね。

ホントだ！光ったり、
音が鳴ったりしてる。



③

先生と一緒に遊ぶと
楽しいな！



①

教師から「おもちゃで一緒に遊ぼう!」と声を掛けられた時、教師の持っている好きなおもちゃを見つけて、遊びたいと手を伸ばす姿が見られました。

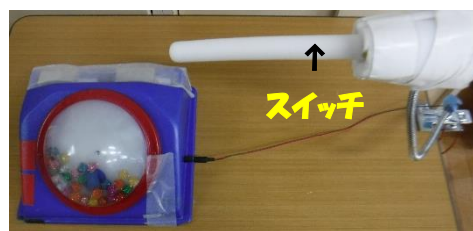
②

今日は「教師と一緒に遊ぼう!」という活動なので、教師がスイッチを操作して、おもちゃを動かしたり、止めたりしました。Cさんはいつ動くだろうと待っている様子が見え、おもちゃが動き出し、音楽が聞こえてくると、教師の言葉掛けに耳を傾けながら、一緒に音や光を楽しむことができました。

③

教師と一緒に遊ぶ中で、声や表情で楽しい気持ちをたくさん伝えてくれました。

【今回の学習で使用したおもちゃ】



入力スイッチを接続し、押すと音が鳴ったり、光ったりするおもちゃです。

この学習では、おもちゃを通して、Cさんと教師がコミュニケーションをとることねらいとしました。

おもちゃの光や音と一緒に見たり、聞いたりする中で、楽しさを共有しようと声を出したり、教師の方へ手を伸ばしたりする場面が多く見られました。

これからも、様々な関わりを通して、子ども達のコミュニケーションの力を高めていきたいと思います。

参考文献：「感覚と運動の高次化理論からみた発達支援の展開 子どもを見る眼・発達を整理する視点」

池畑美恵子 著 学苑社